

iPad (GIGA 端末) 活用実践事例

宇都宮大学共同教育学部附属小学校：指導者：渡邊 明子

学年	教科・領域等	単元名・題材名等
3	道徳	身近な自然に目を向けて（教材名：ヤゴ救出大作戦）

1. iPad 活用のポイント

(1) 本時のねらい

ヤゴの救出をする小学校の取り組みを知ることを通して、自然環境を守っていくためには様々な努力をする必要があることに気づかせ、自分たちでできることはないか考えていこうとする実践意欲を育てる。

(2) 活用アプリ

ロイロノート

(3) GIGA 端末以外で利用した機器

なし

(4) アプリの活用場面と目的

オンライン オフライン

授業での活用場面（授業概要）

前時（教材名：「生きているなかま」、ねらい：「トマトを育て、周りの生き物にも声をかけるやよいの姿を通して、人間だけではなく動植物も生きている仲間であることに気づかせ、命やそのつながりを大切にしようとする心情を育てる。」）の授業内で自分シート（写真①、自分の周りの生きている仲間をかく）を作成した。本時（教材名・ヤゴ救出大作戦）において、自分シートを再び活用し、ペンの色を変えて身近な自然について書き加えるようにした。（写真②）

2. iPad 活用の画面例（写真等）

1

3

2

はじめて考えたこと
虫も動物も、しゅぞくがちがうけど、なかまど、いうこと。

「生きているなかま」【D-18 生命の尊さ】
ねらい：トマトを育て、周りの生き物にも声をかけるやよいの姿を通して、人間だけではなく動植物も生きている仲間であることに気づかせ、命やそのつながりを大切にしようとする心情を育てる。

4

食べたりしていても、いっしょに生きている仲間。

「ヤゴ救出大作戦」【D-19 自然愛護】
ねらい：ヤゴの救出をする小学校の取り組みを知ることを通して、自然環境を守っていくためには様々な努力をする必要があることに気づかせ、自分たちでできることはないか考えていこうとする実践意欲を育てる。

教材「生きている仲間」の授業において、自分の周りの生きている仲間について考えさせる際、自分を中心として仲間を書き込んでいくようにした。ウェビングマップで関連させながら書き足していき、友達とタブレット機器を用いてマップを共有することで、さらに仲間を追加していくようにした。そのマップや友達と話し合ったことをもとに、授業の振り返りを行った。振り返りでは、教材について話し合ったり自分マップを作ったりして「はじめて知考えたこと」という視点を与えて考えさせた。

教材「ヤゴ救出大作戦」の授業内で、ヤゴを大切にしているのは「生きているなかまだから」という発言があり、前時の内容を思い出す時間と、マップに追加する時間を設けた。色を変えて記入することで、思考の変容を見取ることもできた。

身近な生き物たちや、その他自分に関わる人々など、授業内で改めて可視化する時間を設定することで、自分のこととして考える児童の様子がより多く見られた。

3. 効果と課題

(1) iPad (アプリ) を活用して効果的だった点

一斉学習	<input type="checkbox"/>	教師による教材の提示				
個別学習	<input checked="" type="checkbox"/>	個に応じた学習	<input type="checkbox"/>	調査活動	<input checked="" type="checkbox"/>	思考を深める学習
	<input type="checkbox"/>	表現・制作	<input type="checkbox"/>	家庭学習	<input type="checkbox"/>	
協働学習	<input checked="" type="checkbox"/>	発表や話し合い	<input checked="" type="checkbox"/>	協働での意見整理	<input type="checkbox"/>	協働制作
	<input type="checkbox"/>	学校間の交流	<input type="checkbox"/>	家庭学習	<input type="checkbox"/>	

- ・ 前時にまとめシート（自分マップ）を活用することで、学びのつながりを意識して考えることができた。35時間の授業はこま切れにならず、重なり合っていた。
- ・ ペンの色を変えることで、書き足したり、分類整理したりすることが容易にできる。また、過去の学習で作成したシートを簡単に引き出して使うことができ、ワークシート等の紛失も防ぐことにつながる。
- ・ 回答共有機能の活用により、友達の考えを知って自分のシートに生かす流れができていた。

(2) iPad (アプリ) を活用して課題に感じた点

一斉学習	<input type="checkbox"/>	教師による教材の提示				
個別学習	<input type="checkbox"/>	個に応じた学習	<input type="checkbox"/>	調査活動	<input checked="" type="checkbox"/>	思考を深める学習
	<input type="checkbox"/>	表現・制作	<input type="checkbox"/>	家庭学習	<input type="checkbox"/>	
協働学習	<input checked="" type="checkbox"/>	発表や話し合い	<input checked="" type="checkbox"/>	協働での意見整理	<input type="checkbox"/>	協働制作
	<input type="checkbox"/>	学校間の交流	<input type="checkbox"/>	家庭学習	<input type="checkbox"/>	

- ・ 個人の作業時間が多くなるため、協働での活動時間を確保しにくかった。
- ・ ほかの授業でも作成したシートや振り返りの蓄積の仕方、過去の学習との関連を考えさせる活用方法など、さらに工夫していく必要がある。
- ・ 言葉で自分の周りの自然や人々についての記述が難しい低学年などには、写真や絵で蓄積していきける可能性がある。週1回の道徳の時間と日々の生活とのつながりを意識できるアイテムとしての活用を探っていきたい。